

イタチゴケ科

# リスゴケ

*Dozya japonica* Sande Lac.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

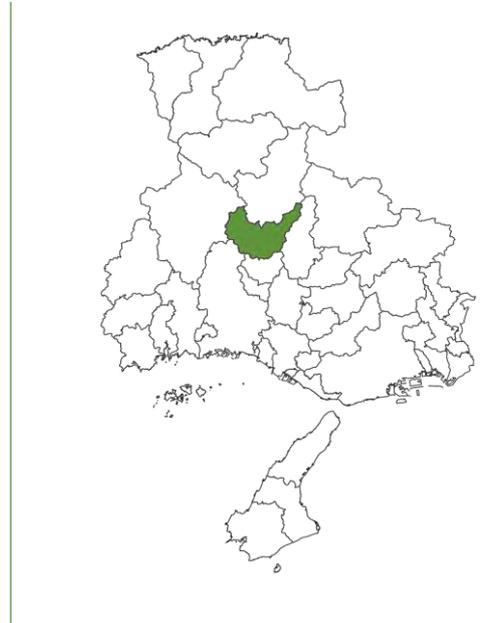
神河町

## ■ 国内分布

本州、九州

## ■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



## ■ 特記事項

現状不明だが、報告があった場所は、森林伐採によりリスゴケが生育するような場所では無くなっている。このことから、すでに絶滅した可能性が高いものと思われる。

## ■ 保護上の留意点

-

## ■ 種の概要

一次茎ははい、二次茎は立ち上がり、ふつう長さ3-5cm、不規則に少数の枝を出す。二次茎や枝の先は弓形に曲がり鋭頭。葉はやや光沢があり、乾くとかたく枝に接する。枝葉は長さ2.5-3.5mmになり、広披針形で細く鋭頭、ほぼ全縁、葉面に縦ひだがあり、中肋は1本で長い、細くて葉先に届かない。葉身細胞は狭楕円形から線形、長さ40-55 $\mu$ m、厚壁、翼部の細胞は不規則な方形、長さ7-12 $\mu$ m、非常に厚壁。蒴柄は長さ7-12mm、平滑。蒴は卵形で直立し、相称。蓋は円錐形で鈍頭。口環を欠く。外蒴齒は披針形で平滑、胞子は直径30-60 $\mu$ m。帽は僧帽状。イタチゴケ属植物に似るが、植物体には特有の光沢がある。樹上、まれに岩上に群生する。